

第2回上曽トンネル開通に伴う地域活性化委員会 会議録

【1】日 時：令和4年11月28日（月） 午前10時～正午

【2】場 所：桜川市役所 真壁庁舎 3190会議室

【3】会議次第：1 開 会

2 委員長挨拶

3 議 事

(1) 経過及びスケジュールについて

(2) 基本構想の構成について

(3) 基礎調査について

(4) ワークショップについて

(5) 委員ヒアリングについて

(6) 中学生アンケートについて

4 そ の 他

5 閉 会

【4】出席者

(1) 委 員

No.	職 名	氏 名	役職
1	筑波大学システム情報系教授	藤川 昌樹	委員長
2	桜川市議会議員	小林 正紀	
3	千年の森の会 代表	櫻井 崇	
4	ディスカバーまかべ 副会長	田中 宣寛	
5	まかべ日和の会 代表	田中 良枝	
6	桜川本物づくり委員会 代表	西岡 勇一郎	
7	桜川市観光協会 会長	橋本 慶晴	
8	真壁石材協同組合 理事長	林 清	
9	まかべ♡街灯りプロジェクト 代表	村上 頼子	
10	桜川市 副市長	小林 達徳	

【5】欠席者

常盤 恵一 副委員長、皆川 光吉 委員、村上 宏 委員

【6】事務局

No.	職 名	氏 名
1	桜川市市長公室長	田口 瑞男
2	桜川市市長公室企画課 課長	坪井 昭
3	課長補佐	仁平 富子
4	係長	山川 拓也
5	主任	渡辺 創

【7】会議の経過

1 開 会：午前10時00分

2 委員長あいさつ

3 議 事

(1) 経過及びスケジュールについて

意見なし

(2) 基本構想の構成について

・現状部分の課題点については将来像との結びつきを考慮してほしい。

(3) 基礎調査について

・町中（真壁町真壁）の人口減少が顕著

・ビックデータ部分に関して、町中に住んでいる人たちと外部から来た人のデータが混在している。内容に応じて精査していく必要があり、あわせて個人情報の問題でどこまで出来るかを確認していく必要がある。

・桜川市全体のデータを使うのか、真壁町のデータを使うのかは構想の構成によって検討。

・交通量について、県道7号線だけではなく、周辺の道路分析もあったほうが良い。

(4) ワークショップについて

・ワークショップメンバーの中には、構想が出来た後に、実際に行動に移したい方もいる。今後、計画にどうつなげていくかは課題。

(5) 委員ヒアリングについて

意見なし

(6) 中学生アンケートについて

・アンケートをするにあたって、必要な資料（エリア図等）をつけたほうが良い。

・単発でアンケートをするよりも、地域についての勉強会等を行ってからの方が高い効果が期待できる。

4 そ の 他

・ワークショップやヒアリングの意見から、将来像や機能について、ハード面よりもソフト

ト面（仕組みや制度、おもてなしの心等）が多い。大切な点だと思うので構想に上手く取り入れてほしい。ソフト面を含めて必要な機能は検討すべき。

- ・情報案内、体験型の観光、景観への配慮、若い世代（学校等）と観光客が繋がる場というのがポイント。多目的に使えるという意見もワークショップでは多かった。
 - ・盛り土部分だけではなく、また観光だけという枠組みに捉われない、地域全体の活性化を検討すべき。
 - ・真壁という地域について考えるときに、中心部に偏る傾向がある。エリアについてはどこまで捉えればよいのか。
- エリアについて、広げれば内容は薄くなるし、狭めれば内容は濃くなる。ワークショップや委員会での意見を考慮し、バランスをとっていく作業が必要になる。
- ・上曾トンネル開通後の石岡市や茨城県の考え方（旧道に活用方法等）も知りたい。

5 閉 会 正午 閉会